

## 総会ご案内 お待たせしました

初夏の候、皆様にはますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当会総会について理事会で協議の結果、自制などご協力をお願いしつつ、久々に東京グリーンパレスにて総会を開催することとしました。

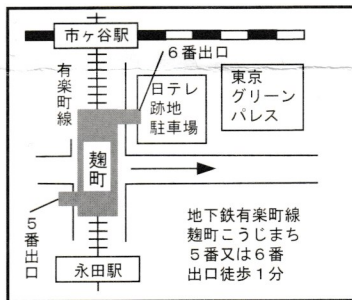
理事会では、「長年にわたる会の活動の軸である総会を開催したい」、「懐かしい顔を見たい」との意見が多くを占める一方、大勢が集うに際しての懸念も呈されましたが、議論を尽くした上で下記の要領で万全の策を講じつつ開催することを決めました。

目下の状況ゆえの制限こそございますが、ご理解の上、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### ~第63回 東京片貝会総会 開催要領~

日時 令和4年6月26日(日)  
正午~午後2時  
(午前11時30分より受付)

会場 東京グリーンパレス  
東京都千代田区二番町2  
03-5210-4600



会費 6,000円

- 参加条件
- (1) 3回接種済(または陰性証明)
  - (2) 会場入口での検温
- 感染予防対策
- ・ゆとりある座席配置となるよう人数に上限を設けるため参加多数の場合は調整させていただきます
  - ・来賓招待は控え東京片貝会の会員のみでの開催とします
  - ・状況によっては直前になり開催要領を変更する場合があります

お問い合わせ先  
050-3552-9801(会長 安達亮一)

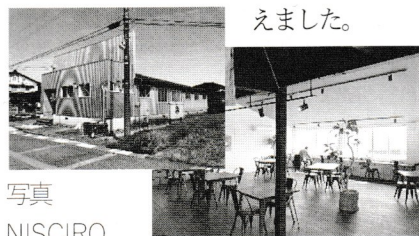
出欠の返信は6月8日(水)までお願いします。

### ■新理事 紹介■

目黒栄さん(みつわ会) 4月17日開催の理事会の冒頭で理事に加わっていただくことに決定し、続く理事会での議事にご参加いただきました。よろしくお願ひします。【3面に目黒さん自己紹介記事】

### 会員短信

片貝バイパス沿いにカフェ開店、と耳にして所用で帰った折に立ち寄りしました。工場を改装したオシャレな店内に本格的なコーヒー! 帰省の楽しみがひとつ増えました。



写真

NISCIRO

(ニシロ)外観と店内(友心会 堀井ひとみ)

ホームページはこちら  
(▼このQRコードから)



<https://tokyo-katakaikai.net>

### 会の動き

理事会 2021/12/19  
於 新潟県人会館  
安達会長以下12名  
・会報発送

新年会  
(中止)

理事会 2022/4/17  
於 新潟県人会館  
安達会長以下11名  
・新理事承認  
・経過報告・決算報告  
・総会開催要領について討議

LINE グループ

「なじらね片貝」

最新情報をスマホに  
お届けします



◀こちらの LINE アカウント  
(理事の友田啓(あきら)さん)  
まで 氏名と「なじらね片貝参  
加希望」を添えて

# 「奉納新作尺玉祭」盛大に

第1回奉納新作尺玉祭が3月27日夜に浅原神社で開催され、今回のために制作された新作尺玉10発が披露された。



この企画は片貝花火サポーターズ倶楽部が主催し、全国からのご協賛者数は85名。協賛金額は、当初目標の60万円の2倍を超える130万円以上が寄せられた。

打ち揚げの冒頭に『世界の安寧を願う』として、ウクライナ国旗と同様の配色の尺玉花火2発を、その後新作の尺玉が10発、続いて片貝伝統の『銀山錦』と『金冠』の尺玉の競演、エンディングに

は人気アニメ「鬼滅の刃」の楽曲に合わせたミュージック・スターマインも打ち揚げられた。特別提供として片貝煙火工業の感謝の華の『大柳火』が美しかった。

= 打ち揚げた新作尺玉 =

壱ノ尺玉 変色金一文字、弐ノ尺玉 霜夜の柳、参ノ尺玉 LOVEずっきゅん、四ノ尺玉 五光輪、五ノ尺玉 牡丹雪、六ノ尺玉 百花競咲、七ノ尺玉 幸運のクローバー、八ノ尺玉 白梅千輪、九ノ尺玉 銀龍の花遊、拾ノ尺玉 稲穂に明月

### 【東京片貝会へご寄付】(令和3・11~令和4・3)

下記の方々から会へのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)  
日下部政子(2)=ご子息より=、阿部 修次、神林勝夫(21)、大塚順一(22)、石橋行夫(27)、安達 隆(28)、松本キイ(29)、大塚國夫(31)、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、小野塚義郎、本田秀幸、松井京子(37)、小野塚和夫(38)、相崎俊夫(40)、安達 徹、阿部 清(41)、安達亮一(42)、内藤富美子(43)、深江久美子、藤塚伸雄(48)、徳永雅史、松山朱実(53)、堀井ひとみ(54)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)

平成26年から昨年まで7年にわたり東京片貝会の顔としてご活躍いただいた本田秀幸さんに会長としての歩みを振り返ってのメッセージをお寄せいただきました。

質問4 会を運営していく上で嬉しかったこと、楽しかったことなど思い出などお聞かせください。

会員や母校の児童、生徒からのお礼や励まし、また母校の先生方、企業などの皆さんから応援いただけたことが、有り難く思いました。皆さんと一緒に総会や60周年記念花火や駅伝などを楽しめました。

質問1 初めての東京片貝会との関わりはいつですか。

本田(以下同) 小千谷市議になって来賓で来ていた同級生の吉原正幸さんの誘いで、平成10年の総会に初めて参加しました。

質問2 会長として何を目標そうと思われましたか。

少子化が進む中で会員数の維持と、同じ活動しつつ費用の節減を目指しました。仲間を増やすには、郷里の後輩に東京片貝会を認知いただくことがポイントと考え、ホームページや教育講演会だけでなく、祭りで厄年同級会出発式で挨拶をさせていただいたり、全国大会で郷里出場者を応援しました。

質問3 会を運営していく上でどんな苦労がありましたか。

前副会長の芝 強さんはじめ、理事の仲間と一緒に活動できましたので、苦労はありませんでした。ただ、後輩に声かけはするものの、仲間を増やすことができなかつたと感じています。

## 本田秀幸前会長にお伺いしました



多摩川の土手にて

質問5 この会はこれからどういう風になっていったらよいかお聞かせください。

私は理事の活動の中で、仲間や郷里との懇親が楽しいことを知りました。中絶している総会などの集まりが会員の最大の楽しみだと思います。とにかく、郷里の友人たちと仲良く、参加する仲間が楽しくやって頂くことを期待しています。

\* \* \* \* \*

本田さん(永遠会(37))は長岡工業高等専門学校工業化学科、芝浦工業大学機械工学科を卒業後、2年前まで日本酸素株(現太陽日酸株)で酸素製造プラントの設計を中心に第一線でご活躍され、いくつもの論文や特許をものにされました。これからもよき先輩としてご指導を賜りつつご一緒ください。

## 「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”  
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。  
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”  
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は

⇒ JA越後おぢや

検索

JA 越後おぢや

〒947-0031  
新潟県小千谷市土川1-12-25  
☎0258-83-3425



有限会社  
品田巧機

代表取締役 品田 靖宏  
小千谷市片貝町沼田前550-1  
電話 0258-84-2850  
https://www.shinada-kouki.co.jp

医療法人社団 紅鶴会



\*\*\*\*\*

# 母校を励ます会 お知らせ

温かいご支援、ありがとうございます

\*\*\*\*\*

新たな日常を取り入れることが求められる中、会報などでお伝えしているとおり片貝健児たちも前向きに取り組んで目ざましい成果を上げているのは頼もしいかぎりです。そんな母校の児童生徒に思いをはせながら、お互いに行き来するのにもまならないながらも精いっぱい励ましたいとの皆さまの気持ちが多くのご協力にもつながっているようです。厚く感謝申し上げますとともにこれからもご支援よろしくお願ひします。

なお、続く感染懸念から、教育講演会の開催要領が変更となる可能性があります。東京片貝会ホームページ（リンクは 1 面ご参照）で更新情報をお確かめください。また、今年度も図書費贈呈は小・中学校へ直接送付します。

＝ ＝ ＝ ＝

## 【母校を励ます会基金ご協力者名】

(敬称略) (令和 3・11～令和 4・3)

太刀川三郎(15)、神林勝夫、阿部修次(21)、大塚順一(22)、長岡利夫(23)、佐藤祐一、藤塚文顕、松岡規子、荒木ムツ、石橋行夫(27)、安達隆、黒崎 勝(28)、宮下愛子、野崎真知子、松本キイ、横田房枝、吉井 均(29)、安達弘之(30)、小宮善興、小野塚清、大塚國夫(31)、諸我時夫(32)、安達 弘、高波国男、熊谷正子、工藤イツ(35)、広沢雅子(36)、松井京子、高野鈴子、本田秀幸、佐藤篤司(37)、吉田邦男、本田利美、小野塚和夫(38)、佐藤正志、天野八重子(39)、相崎俊夫(40)、阿部 清、栗原知子、安達 徹(41)、勝又一司、安達亮一(42)、藤塚弘、内藤富美子(43)、黒崎 修(45)、松井正之(46)、高野昭人(47)、深工久美子、藤塚伸雄(48)、徳永隆浩(52)、松山朱実、徳永雅史(53)、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤(55)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、小林秀明(63)、名塚孝雄(H1)、小榎尾ふゆか(H2)

## 町のできごと

### ■先生方の人事異動

片貝小は大原有喜教頭先生が長岡・柿小校長へ転出され、後任に長岡・上通小から須玉研一教頭先生が赴任された。また、片貝中は田村豊校長先生が定年退職され、後任に十日町・水沢中から山本俊介校長先生が赴任された。大原先生、田村先生ありがとうございました。また、お祭りでお会いしましょう。須玉先生、山本先生よろしくお願ひいたします。

### ■4 月 1 日現在の児童・生徒数

▽片貝小＝①24、②21、③22、④37、⑤32、⑥29、計 165 (11減)

▽片貝中＝①36、②26、③33、計 95 (2減)

(○数字は学年、増減は令和 3 年 5 月 1 日比)

## 第 40 回教育講演会

開催 (内定) のご案内

日時 10 月 7 日(金)

場所 片貝中学校体育館

講師 芝 至<sup>いたる</sup>氏 (四之町出身 輝友会)

略歴 片中卒業後、長岡高校、早稲田大学第一文学部を卒業し、(株)テレビ新潟放送網 (TeNY) 入社。報道部記者として警察担当、長岡支社、NNN モスクワ特派員、県政担当等を歴任。その後、「夕方ワイド新潟一番」の県内ニュースのデスクを 15 年務め、令和 3 年から報道部長。現在は組織改編に伴い報道制作部報道担当部長を務める。

### 講演概要

「ニュースを伝える“報道の仕事”とは」

記者は何を考へて日々取材しニュースを伝えているのか。テレビ報道の現場とは。また、時代とともに変わる報道を取り巻く環境、現代社会で情報を受け取る側はどんなことに気を付ける必要があるのかなど、お話しいただく予定です。

## 若え衆登場 片貝に帰省したら星空を眺めてみませんか

目黒 栄 (旧姓 浅田、30 回卒業 みつわ会)

この度、理事をさせていただくことになりました。皆様よろしくお願ひいたします。

幼い頃、ウルトラマンやキャプテンウルトラなどのテレビ番組に釘付けでした。同じ頃、アポロ 11 号による人類初の月面着陸がありました。これらが宇宙に興味を持つきっかけでした。

小学 4 年の時、兄の浅田昇(船出会)が中学校で配布された理科教材案内にあった天体望遠鏡を買ってもらえました。小さく安い物でしたが作りが良く土星の環や木星の縞模様が良く見えました。それで星を見ることが趣味になりました。就職し、たまたま光で測定する機器の開発部署に配属され、独学の光学知識が役立ち趣味と仕事が重なりました。2 回の転職を経た今も同様の

仕事を続けています。

住まいのある東京の昭島市は夜空が明るく星を見る機会は激減しました。3 年前、息子が結婚した折に帰省し、実家に到着して車を降りると星が見えていました。息子と息子の嫁はきれいな星空だと感動し家に入らずしばらく眺めていました。山屋の実家では夏は天の川が見えます。

普段、当たり前を感じるものが視点を変わると価値のあるものになることがあります。きれいな星空は片貝の良いところの一つです。皆さんも新型コロナウイルスが落ち着いて帰省された際、町外れに行って星空を眺めてみてください。故郷の今まで気づかなかった素晴らしさを実感していただけたらと思います。



“開発から量産までトータルソリューション”  
精密金型製造・各種プレス加工

株式会社 山口製作所

新潟県小千谷市片貝町10245-1  
TEL 0258-84-2308  
FAX 0258-84-2080  
URL <http://www.yssmfg.co.jp>



mazda

マツダオートザム小千谷  
株式会社ロータス片貝

小千谷市片貝山屋町 1-1  
電話番号 0258-84-2405

SHIN SETSUBI



総合設備工事業 (設計・施工・保守)

株式会社 しん 設備

代表取締役 黒崎哲郎

〒947-0101 小千谷市片貝町5048-1  
tel:0258-84-3599 fax:0258-84-3799  
URL <http://www.shinsetsubi.co.jp>

医療法人社団  
鈴木歯科医院

〒947-0101  
新潟県小千谷市  
片貝町5248番地

電話・FAX  
0258-84-2044

# ふるさと・は・今

令和3年11月より

令和4年05月まで

## 母校近況

### ■小学校 須玉教頭先生 【もみのキッズ学びランド】

11月13日(土)に、新型コロナウイルス感染症の密を避けるため、1・2年、3・4年、5・6年の3つの部に分けて、入れ替え制で発表しました。1・5年生は、息の合った合唱・合奏を披露しました。2・3・4・6年生は、生活科や社会科、総合的な学習の時間に学んだ内容を劇にして発表しました。どの学年も、片貝町の伝統や地域の良さを中心に調べ活動を行い、子どもたちが考えたセリフと動きを取り入れて、会場の保護者や地域の方々に伝えていました。片貝町の良さが十二分に伝わる学習発表会になりました。

### 【鼓笛引継式】

新型コロナウイルス感染症のため延期していた鼓笛隊引継式を、3月14日(月)に行いました。4～6年生と6年生の保護者のみで行いました。1～3年生は、テレビ放送で6年生の姿を見届けました。鼓笛隊の練習では、6年生が5年生に「指揮者を見ること」「みんなと動きを合わせることを特に意識して練習するように指導してきました。6年生の総指揮から「今年度は、片貝まつりや町民運動会が中止になり、地域の方に披露できずに悔しい思いをしましたが、無事に引継式を行うことができ嬉しです。」との発表がありました。6年生の思いを5年生が引き継いで、新年度は片貝地域の皆さんに立派な演奏が披露できることを願っています。

### 【六年生を送る会】

南運動場で実施予定だった六年生を送る会ですが、まん延防止等重点措置が延長され、2月25日(金)に、初めてのテレビ放送で実施しました。スローガン「みんなにやさしいひかり学年。中学校でもがんばれ！」の下、各学年がカメラの前で感謝の気持ちと卒業おめでとうのお祝いの気持ちを6年生に伝えました。5年生の進行で、1年生「ダンス発表とプレゼント紹介」、2年生「始めの言葉とダンス発表」、3年生「ありがとうコール」、4年生「ショートコントとくす玉割り」、5年生「木遣天舞」を披露しました。各学年ともに、テレビを見ている6年生に思いが伝わるように、精一杯の発表をしました。6年生は、6年間の思い出を劇にして発表してくれました。コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、テレビ放送で実施することができました。6年生からも、「実施できて嬉しかったし、楽しかった。」と話している子もいました。6年生にと

っては、様々な行事や活動が制限された一年間でしたが、最後に楽しい思い出とすることができて本当によかったです。

### 【児童の活躍】

令和3年度後半も、絵画や書き初めで多数が入賞、大活躍でした。中越教育美術展では、7名が特選に入賞し、新潟県書初大会・硬筆書初大会では、2名が特選に入賞しました。片貝町民駅伝大会には小学生が4チーム出場し、大会を盛り上げました。

例年、全校でクロスカントリースキーを実施していましたが、今年度から3年生以上でアルペンスキーを実施することとなりました。雪国で育った片貝の子どもたちが、大人になっても冬のスポーツに親しんでほしいと願っています。



### ■中学校 佐藤教頭先生

11月の「ふるさと学習発表会」では、1年生が「奉納木遣り」と「道中木遣り」を歌いました。2年生は、「片貝まつり、花火、半纏、片貝への思いと今後」について関係者の皆様から教えていただいたことを基に自分たちの調査や考えを発表しました。3年生は、保護者・地域の方々からのアンケートを基に「片貝町のよりよい未来と自分たちができること」を提言しました。

新チームとなった部活動、バスケットボール部は、中越新人大会でベスト8となり、県新人大会に出場しました。卓球部は、女子団体が中越新人大会でベスト16となりました。吹奏楽部は、県アンサンブルコンテストに管楽七重奏で出場し、銅賞を獲得しました。

バレーボール部では、石黒恵奈さんが新潟県女子選抜チームの一員として、大阪市で開催されたJOCジュニアオリンピ



ックカップに参加し、リベロとして活躍しました。

クロスカントリースキーでは、県中学校スキー大会で、小堀陽日さんが、男子クラシカル8位・フリー15位となり、長野県野沢温泉村で開催された全国中学校スキー大会へ出場しました。



北海道名寄市で開催されたJOCジュニアスキー選手権大会でも、小堀陽日さんが中3男子クラシカル10位・フリー5位の好成績を収めました。

第75回卒業生「黎明会」39人が卒業し、36人の新入生と2年生の転入生1人を迎え、全校生徒95人で、令和4年度がスタートしました。今年度もコロナウイルス対策をしっかりと施した上で、生徒は、学習や委員会活動、部活動に一生懸命取り組んでいます。

### 令和4年記念行事の同級生 (中学校卒業回)

成人	<small>あいちようかい</small> 逢龍会 (第70回)
33歳	<small>そうひかい</small> 爽飛会 (第59回)
42歳	<small>こうようかい</small> 恒暉会 (第49回)
50歳	<small>きゆうかい</small> 輝友会 (第41回)
還暦	<small>こうゆうかい</small> 恒友会 (第31回)

### 会員訃報

日下部マサ様 (昭2昭生会)

### 恩師訃報

丸山勇先生 (享年96歳)  
毛利厚先生 (享年89歳)

### 編集後記

新たな装いでお目見えの今号、いかがでしょうか。

皆さまのご感想をお気軽にお聞かせください。また近況だより、随想など会員の皆さまからの投稿を募集します。

広報担当 徳永・小林・  
安達・相崎  
news@tokyo-katakaikai.net



創刊 昭和38年  
年2回(6・12月)刊  
発行 東京片貝会

